

平成29年度 第13回豊南地域会議 会議録

■日 時 平成30年3月15日(木) 午後6時30分～午後8時40分

■場 所 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委員> 天野 昭一郎 市川 繁 稲垣 令一  
大濱 繁之 近藤 克己 坂田 一浩  
瀧上 久 土井 泰久 成瀬 潔  
西口 武彦 西山 修美 稗田 猛  
松岡 ミネ子 真鍋 淳子 三尾 良介  
宮川 尚子 宮下 敏夫 吉森 則雄  
<欠席者> 浦部 剛史  
<交流館> 梶 いづみ (豊南交流館長)  
<事務局> 小澤 都司子 (拳母事務所長兼地域支援課長)  
大澤 学 (地域支援課副主幹)  
梅村 美紀子 (地域支援課担当長)  
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

■次 第

開 会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

1 2月地域会議振り返り

2 地域予算提案事業について

(1) 事業計画書の評価について

(2) 平成30年度の地域予算提案事業について

(3) 平成31年度の地域予算提案事業について

退任委員あいさつ

閉 会

■議 事(要約)

1 2月地域会議振り返り

◇ 前回地域会議での協議内容を確認

2 地域予算提案事業について

(1) 事業計画書の評価について

◇ 平成29年度の事業評価、平成30年度の目標について協議

- ・住民の交通安全意識の向上に、地域会議の取組も寄与できたと思う。
- ・取組の中で、各種団体との連携ができたことが成果のひとつではないか。
- ・あまり進められなかった取組や、次年度への課題も記載する必要がある。
- ・現実的に達成できそうな目標の方が、より意欲を持って事業に取り組めると思う。

- ・評価の際は、これまでどおり数値的な目標より意識に重点を置けばよい。

◆ 決定事項

- ・意見のあった内容を事業計画書に記載する。
- ・今年度の事業評価は「概ね順調」とする。
- ・来年度の目標は、今年度と同じ指標数値を目標とする。

(2) 平成30年度の地域予算提案事業について

◇ 来年度事業の取組の詳細について協議

【(1) 豊南地域各種団体での意見交換会】

- ・子どもに関係する団体としっかり連携が取れると良い。
- ・企業との連携も必要ではないか。
- ・各団体の活動の体制を変えるような取組は、各団体にとって負担感が大きいいため、各団体で実施している活動と抱き合わせて取り組めると効果的だと思う。

【(2) 子どもに向けた交通安全啓発】

- ・夏休みの課題として利用してもらえないか。
- ・周辺地図を掲載し、危険場所を話し合うような内容にしてはどうか。

【(3) 高齢者に向けた交通安全啓発】

- ・自治区行事の際に啓発を行うと効果的だと思う。
- ・デイサービスは、啓発の対象者が少ない可能性もある。
- ・商店にも協力を依頼してはどうか。

◆ 決定事項

- ・来年度以降の会議で引き続き検討する。

(2) 平成31年度の地域予算提案事業について

◇平成31年度以降の事業テーマとその取組イメージについて協議

【全体について】

- ・まずは、どのテーマについても情報収集が必要である。
- ⇒何を重点に考えるかを決めてから、調査をするべきだと思う。
- ・他地域で取り組まれているテーマは、ヒアリングができると良い。

【防災について】

- ・まずは、どんな災害、どんなケースを想定するかを決めておく必要がある。
- ・豊南地域にとって、災害＝地震のイメージが大きいと思う。
- ・各避難所の展開の仕方について調査してはどうか。

⇒様々な属性の人を想定する必要があるのではないか。

⇒細部まで決めておかないと、実際の場面では機能しないという話を聞いた。

- ・避難訓練、避難所運営は、重点を置いて検討すべきテーマだと思う。
- ・マニュアル等を整備しても、実際に動く人がいないと意味がないと思う。

⇒自助の意識を向上させることが必要ではないか。

- ・自主防災会は、自主的な活動をあまりしていない場合がある。

◆ 決定事項

- ・来年度以降の会議で引き続き検討する。

(終了)

次回開催日 平成30年4月26日(木) 午後6時30分から 豊南交流館